

牛道春秋

駐在妻の欄

▼四月、長女は八歳の誕生日を迎えました。▼長女は「私は、くだらないプラスチックのおもちゃは要らないから、お菓子をちょうだい。」と兄を小馬鹿にしながら祖父母にプレゼントを要求していました。▼長女はタンマリとお菓子を買ってもらうと、兄や父に食べられないように、お菓子一つ一つに「あい」と名前を書いて、押し入れの中に隠し死守していました。▼普段は面倒くさい。」が口癖の長女ですが、お菓子の為なら手間を惜しみません。▼そして、毎日チヨビチヨビと食べては悦に入っています。▼うまい棒は袋に付いた粉まできれいに舐めています。▼お菓子と豚の脂と鮭の皮が大好きな長女は、体重に続き今度は兄の身長を追い越そうと目論んでいます。▼長男は、少しは兄貴らしいところを見せようと、長女をタグラグビーに誘いますが、面倒くさがりの長女は乗ってきません。▼そして兄が練習でいない間に、お菓子を食べながら、ゲームとタブレットとテレビを独り占めし、悦に入っています。

